

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

資料6-2

章	政 策 名	施 策 名	担 当 課	シート番号	第5次津久見市 総合計画
第1章	健やかな暮らしを支え合う 思いやりのまち ＜保健・医療・福祉分野＞	1. 保健医療の充実	健康推進課	1-1	42 ～ 45
		2. 地域福祉の充実	社会福祉課	1-2	46 ～ 48
		3. 高齢者福祉の充実	長寿支援課	1-3	49 ～ 51
		4. 障がい者福祉の充実	社会福祉課	1-4	52 ～ 54
		5. 子育て支援の充実	社会福祉課	1-5	55 ～ 57
		6. 社会保障の充実	社会福祉課 健康推進課	1-6	58 ～ 61
第2章	郷土を想う心の豊かな ひとを育てるまち ＜教育・文化分野＞	1. 学校教育の充実	学校教育課	2-1	62 ～ 66
		2. 社会教育の充実	生涯学習課	2-2	67 ～ 68
		3. スポーツ・レクリエーション活動の推進	生涯学習課	2-3	69 ～ 70
		4. 青少年の健全育成	生涯学習課 学校教育課	2-4	71 ～ 73
		5. 地域文化の伝承と芸術文化活動の充実	生涯学習課	2-5	74 ～ 76
第3章	世界に誇る地域資源で 活力を創造するまち ＜産業振興・雇用分野＞	1. 農林業の振興	農林水産課	3-1	77 ～ 79
		2. 水産業の振興	農林水産課	3-2	80 ～ 82
		3. 鉱工業の振興	商工観光・定住推進課	3-3	83 ～ 84
		4. 商業の振興	商工観光・定住推進課	3-4	85 ～ 87
		5. 観光・レクリエーションの振興	商工観光・定住推進課	3-5	88 ～ 90
		6. 就労環境の整備	商工観光・定住推進課 社会福祉課	3-6	91 ～ 93
第4章	多様な都市活動を支える 快適で潤いのあるまち ＜都市基盤・生活基盤整備 分野＞	1. 交通ネットワークの整備	まちづくり課 土木管理課 経営政策課	4-1	94 ～ 96
		2. 港湾の整備	土木管理課	4-2	97 ～ 98
		3. 情報通信基盤の整備	会計財務課	4-3	99 ～ 100
		4. 住みたい・住み続けたいまちづくり	まちづくり課 商工観光・定住推進課	4-4	101 ～ 103
		5. 上下水道等の整備	上下水道課	4-5	104 ～ 106
		6. 安全安心の基盤づくり	防災危機管理室 市民生活課	4-6	107 ～ 109
		7. 消防・救急の基盤づくり	消防本部	4-7	110 ～ 112
第5章	美しい津久見の環境を 次世代につなぐまち ＜循環型社会・環境保全分 野＞	1. 生活環境の保全と向上	環境保全課	5-1	113 ～ 115
		2. 循環型社会の推進	環境保全課	5-2	116 ～ 118
		3. 景観の保全・整備	まちづくり課 商工観光・定住推進課	5-3	119 ～ 120
第6章	未来の津久見を共に考え 行動するまち ＜市民活動・行財政分野＞	1. 市民主体のまちづくりの推進	総務課 経営政策課	6-1	121 ～ 122
		2. 地域コミュニティの活性化	総務課 経営政策課	6-2	123 ～ 124
		3. 男女共同参画・人権尊重社会の形成	人権尊重・部落差別解 消推進室 生涯学習課	6-3	125 ～ 126
		4. 安定した地域経営の推進	総務課 経営政策課	6-4	127 ～ 130

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第1章：健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち	施策主管課	健康推進課
施策名	1. 保健医療の充実	課長名	中津留 茂 雄

1. 施策の体系

(1)地域医療体制の充実	各計画記載ページ	
(2)母子保健の充実	第5次総合計画（後期）	p.42~45
(3)健康なまちづくりの推進	第2期総合戦略	p.7~11

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	乳幼児健診の未受診者に対して、個別通知や電話による次期開催時への受診勧奨を実施し、受診につなげることができた。未受診者に対し、訪問等を行い、児の状況把握はできている。今後も子育て世帯と積極的にアプローチしていく。
達成率の低い指標について	がん検診による早期発見、早期治療が必要であり、受診率向上が喫緊の課題であるが、事業所が行う健診でがん検診を受診した受診者の把握が困難であることから、実際の受診率はわからない。しかし、早期発見には、がん検診受診率の向上は必要不可欠であるため、普及啓発等の未受診者対策に努める。 お達者年齢（健康寿命）については、男女とも県内下位のため、働き盛りの世代から主体的に健康づくりに取り組める施策の推進が必要である。生活習慣病の有病率が高いため、ライフステージに応じた切れ目ない健康づくりの推進に向けた取組を強化していく必要がある。 出生数の低下は、合計特殊出生率の低下や人口減少が要因と考える。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	母子保健については妊娠子育て応援事業などによる給付や任意予防接種の拡充、不妊治療の拡充など切れ目ない支援により子供を産み育てやすい環境整備は進んできており、特に、所得要件なしの初回産科受診料助成事業は県内では津久見市のみ実施。また子ども医療費助成事業では、対象年齢を高校生世代まで引き上げた。しかしながら、出生数は令和元年度からおおよそ半数となっており、市全体での少子化対策が急務であり、少子化により、現在の乳幼児健診の開催回数の維持が困難となり、受診率の低下も懸念される。 TJK大作戦の参加事業所や健康チャレンジ「つくみんウォーク」の参加者は増加傾向で、健康づくりに対する機運は高まりつつあるが、お達者年齢（健康寿命）の令和6年度（令和元年～令和5年平均）は男女とも県内最下位のため、働き盛りの世代から主体的に健康づくりに取り組める施策の推進が必要である。生活習慣病の有病率が県内でもトップクラスで、生活習慣病重症化＋発症予防の取組を強化していく必要があり、ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりを推進していく必要がある。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角で記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
小児科医師数	人	1	1	1	1	1	1	2		○		

出生数	人	76	53	61	42	44	37	80	○			
予防接種助成事業の 拡充（母子）	ワクチン	3	4	4	4	4	4	4		○		
4 か月児健診受診率	%	97.1	97.8	95.2	100	100	97.4	100		○		
10か月児健診受診率	%	97.4	91.8	96.2	98.2	102.4	97.6	100		○		
1歳6か月児健診受診率	%	94.9	98.7	103.6	93.2	102	100	100		○		
3歳6か月児健診受診率	%	92.4	97	98.6	97.1	101.9	98.1	100		○		
5歳児健診受診率	%	97.3	98.9	95.1	96.2	100	101.5	100		○		
健康教室開催数（母子）	回	15	6	22	30	22	21	17		○		
食育教室開催数（母子）	回	10	9	12	14	15	10	12		○		
お達者年齢（健康寿命・ 男性）	歳	78.34	78.89	78.47	77.98	78.92	79.17	お達者年齢 の延伸	○			
お達者年齢（健康寿命・ 女性）	歳	83.68	84.4	83.97	83.41	83.82	83.65	お達者年齢 の延伸	○			
胃がん検診受診率	%	7.1（H28）	4.8	4.5	4.6	4.3	2.9	50			○	
肺がん検診受診率	%	11.4（H28）	9.2	9.5	9.7	9.4	9.3	50			○	
大腸がん検診受診率	%	8.2（H28）	6.5	7	6.7	6.5	6.4	50			○	
子宮頸がん検診受診率	%	13.7（H28）	11.2	10.1	10.4	10.7	7.8	50			○	
乳がん検診受診率	%	13.6（H28）	10.7	10.4	9	9.2	4.7	50			○	
健康教室開催数（成人）	回	24	26	21	11	13	9	25			○	
食育教室開催数（成人）	回	19	19	23	26	17	24	20			○	
							※以下項目は選択式					
在宅当番医制度	-	通年実施	通年実施	通年実施	通年実施	通年実施	通年実施	通年実施			○	

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第1章：健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち	施策主管課	社会福祉課
施策名	2. 地域福祉の充実	課長名	濱野 克公

1. 施策の体系

(1)「地区社協」活動の推進	各計画記載ページ	
(2)福祉のまちづくりの推進	第5次総合計画（後期）	p.46~48
(3)要配慮者への支援体制の整備	第2期総合戦略	p.7~9
(4)災害ボランティアとの協働体制の整備		

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	地区社協設置数・要配慮者支援体制整備地区数はともに数値としては目標を達成している。双方とも社会福祉協議会の寄与が大きい。毎年地区社協の総会に関しても招待があれば土日関係なく対応してきた
達成率の低い指標について	
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	数値としては達成しているが、高齢化や人口減少によりこの数値を支えている地域力は減少の一途をたどっており、今後この数値を維持するには相当困難性が高いものと思われる

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角で記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
地区社協設置数	団体	28	28	28	28	28	28	維持		○		
要配慮者支援体制整備地区数	地区	6	8	9	13	19	23	18		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第1章：健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち	施策主管課	長寿支援課
施策名	3. 高齢者福祉の充実	課長名	吉本 竜太郎

1. 施策の体系

(1) 高齢者生活支援サービスの充実	各計画記載ページ	
(2) 健康長寿の推進	第5次総合計画（後期）	p.49～51
(3) 介護保険事業の円滑な推進	第2期総合戦略	p.7～9, 12～14

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	「ふれあいいきいきサロン」の開催回数は増加しており引き続き取組を進める。 「在宅介護サービス利用者数」は減少傾向にあるが、数値の増減が状況の改善や悪化の判断材料として直結するものではない。高齢者数や介護認定者数（認定率）の推移も確認しながら判断する必要があることから、状況を注視していく。
達成率の低い指標について	「介護認定者数（認定率）」は、上昇傾向となっており目標を下回り続けている。「ふれあいいきいきサロン」などの通いの場の提供と「しゃんしゃん教室」や「週1元気アップ体操」などによる筋力アップへの取組を継続する必要がある。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	○市民からの相談や気がかりなご家庭の情報がある場合には、関係各課及び地域包括支援センターと連携した訪問活動などにより状況を把握に努め必要なサービスの提供を行うとともに、在宅医療・介護連携推進事業などにより医療・介護現場とも情報共有や協議の場を持つなど高齢者の生活支援の取組を進めてきた。 さらには、住み慣れた地域において、高齢者ができるだけ健康を保ち元気にいきいきと暮らし続けることができるよう、健康寿命の延伸に向け、体操や栄養に関する取り組みを推進し、介護予防・重度化防止にも努めてきた。 ○施策指標については、「介護予防事業の参加者数」などではコロナ禍での一時的な落ち込みから回復傾向にある。しかしながら、「介護認定者数（認定率）」が上昇傾向にあるなど懸念すべき点もある。高齢化が進むなか、医療・介護の重要度は益々高まると考えられるが、サービスを提供する側の各施設においては、今以上に人材不足に苦慮する状況となることも懸念されている。また、高齢者の自立支援、栄養改善、安否確認等を目的とした「配食サービス」など実施に至っていない事業については、必要性や効果、条件等について研究・協議し事業化を検討すべきと考える。 ○今後も事業の目的・効果の周知に努め、介護予防・健康に対する意識の向上、参加者数増に向けた取組を続けるとともに、人材確保に関しても継続的に取り組む必要がある。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
ふれあいいきいきサロン開催回数	回	506	163	260	344	432	457	550	○			
介護認定者数（認定率）	%	17.0	17.3	17.1	17.5	17.8	18.2	17.0			○	
在宅介護サービス利用者数	人	813	784	779	762	758	759	820			○	

介護予防事業の参加者数	人	10,489	3,156	4,629	5,920	7,223	7,541	12,800	○			
-------------	---	--------	-------	-------	-------	-------	--------------	--------	---	--	--	--

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第1章：健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち	施策主管課	社会福祉課
施策名	4. 障がい者福祉の充実	課長名	濱野 克公

1. 施策の体系

(1)障がい者の生活支援
(2)自立と社会参加の推進
(3)障がい福祉サービスの充実
(4)障がい児への支援

各計画記載ページ	
第5次総合計画（後期）	p.52~54
第2期総合戦略	p.7~11

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	
達成率の低い指標について	○障がい福祉サービス利用者数・地域移行サービス利用者数ともに未達成となっている。過去には国も障がいサービスの利用推奨の時期があったが、現在は相談支援を行い適正なサービス利用を推奨している
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	○過去5年を見ても障害者手帳所持者数が減少傾向にあることから一定程度はやむを得ないとする。ただし社会資源の減少も否定できず、サービスを受給したくても地域内ケースも想定されることから、需要と供給のバランスの維持が今後の課題ととらえている。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角で ご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
障がい福祉サービス利用者数	人	232	234	229	220	221	219	230		○		
地域移行サービス利用者数	人	2	0	0	0	0	1	3		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第1章：健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち	施策主管課	社会福祉課
施策名	5. 子育て支援の充実	課長名	濱野 克公

1. 施策の体系

(1)地域における子育て支援
(2)保育サービスの充実
(3)ひとり親家庭への支援

各計画記載ページ	
第5次総合計画（後期）	p.55~57
第2期総合戦略	p.7~11

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	全ての施策が数値を達成している 初年度より目標数値は達成しているが、これは津久見市の子育て施策が功を奏したと判断している
達成率の低い指標について	
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	ここ数年の市の施策によりサービス提供は充実してきた。しかしながら児童数の減少は顕著であり今後この数を維持するのが正しいのかは別途協議が必要である 今後についてはより少ない児童数に対してサービスをいかに充実させるかを念頭に高校年代までの支援をしていかないと、子育て世帯の流出は防げない

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角 でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
地域子育て支援拠点事業実施箇所数	箇所	1	1	1	1	1	1	1	○			
放課後児童クラブ実施箇所数	箇所	4	4	4	4	4	4	4	○			
幼保小連絡会の開催回数	回	3	3	2	3	3	3	3		○		
要保護児童対策地域協議会の開催回数	回	13	13	13	13	13	13	13		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第1章：健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち	施策主管課	社会福祉課／健康推進課
施策名	6. 社会保障の充実	課長名	中津留 茂 雄

1. 施策の体系

(1)生活困窮者の自立支援	各計画記載ページ	
(2)生活保護の適正給付	第5次総合計画（後期）	p.58~61
(3)国民健康保険制度の運営	第2期総合戦略	p.7~9
(4)後期高齢者医療制度の安定的な推進		
(5)国民年金制度の適正な運用		

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	○国保税収納率において、令和2年度と令和3年度は既に目標値を超えていたが、R4から減少傾向となっている。特に令和6年度からはマイナ保険証導入により、短期被保険者証を発行しないことなどから窓口への来庁が減少し、収納率の低下が懸念されることから、さらなる収納対策の強化が必要とされる。 ○就労・健康支援件数は達成している 困窮対策としての支援だけでは限界があり、健康相談等で心を開いていただき就労相談に繋げている
達成率の低い指標について	○特定健診実施率・特定保健指導実施率とも、経年で大きな変化はなく、目標値にも達していない。 特定健診未受診者の2/3は、生活習慣病で既に受診中であるため、医療機関での受診勧奨やみなし健診による実施率向上対策を強化する必要がある。電話勧奨のほか、業者委託による人工知能がレセプト情報の履歴等で分析し、それぞれの対象者ごとに内容を変えたハガキによる受診勧奨、WEB予約などの実施率向上事業を行っている。 特定保健指導では、健診時の質問票の中で、運動・生活習慣の改善を希望されない方が多く、対象者が断るケースも見受けられる。保健指導の委託先を増やすなど実施率向上の対策を講じる。 ○生活困窮者に対する相談件数は未達成となっている。人として経済状況を他人の明かすことへの抵抗示す方は多い。しかしながら、物価高等が直撃しており今後増加する可能性はある。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	○計画期間中においても、一人当たり医療費や生活習慣病有病率の高さは改善されず県内の自治体でも高い方に属している。早期発見早期治療につながるための、特定検診受診率も伸び悩んでいる。令和6年3月に策定した「第3期保健事業実施計画〈データヘルス〉・第4期特定健康診査等実施計画」に基づく保健事業を実施し、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を推進していくために一般衛生部門、庁内関係各課、県、保健所、医師会と協力・連携を図り、「健康寿命（到達者年齢）の延伸・健康格差の縮小」を目指す必要がある。 ○就労に関する支援が数値を上回っているのは良い傾向である。 ○困窮相談は少ないがこれは一番相談しづらい内容だということだと思う また社協のフードバンク等の利用者数は増加傾向であることから今後も注視が必要である。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角 でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
生活困窮者に対する相談件数	件	22	34	60	18	14	19	24		○		
就労・健康支援件数	件	68	86	102	94	80	65	30		○		
特定健診実施率	件	44.2	41.4	43.2	43.5	43.8	46.0	60.0	○			
特定保健指導実施率	%	47.2	43.6	39.3	40.6	42.0	49.0	70.0	○			
国民健康保険税収納率	%	95.9	97.1	97.3	96.2	95.0	95.5	97.1		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第2章：郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち	施策主管課	学校教育課
施策名	1. 学校教育の充実	課長名	江藤 靖雅

1. 施策の体系

(1)幼児教育の充実
(2)確かな学力を育む教育の推進
(3)健やかな体を育む教育の推進
(4)豊かな心を育む教育の推進
(5)地域とともにある学校づくり
(6)教育環境の整備

各計画記載ページ	
第5次総合計画（後期）	p.62~66
第2期総合戦略	p.10~11

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	○中学生の国語、数学について、経験年数の浅い教員には、授業力向上アドバイザーが指導を行ったことで、指標の達成に効果的であった。 学力の基礎を作る小学校においても小学校英語専科教員、小学校教科担任制推進教員を設置することで、確かな学力の確保につながり、現在の中学生の学力にも結び付いている。 ○小学校体育専科教員、中学校体育推進教員を中心に取組を推進することで小学生、中学生ともに、指標を達成することができた。
達成率の低い指標について	○津久見市内から多方面の高校を選択する傾向が高まり、津久見高校への進学率が下がった。津久見高校地域振興協議会の取組改善を行い、津久見高校の魅力化を推進していく。 津久見高校地域振興協議会では、新たな取り組みとして入学準備金の贈与、津久見高校DX魅力化推進拡大プロジェクトチームの結成など新たな取組をスタートさせる。また、津久見高校には学校運営協議会が設置され、津久見高校の魅力をいっそう促進する支援をしていく予定である。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	○津久見市教育委員会では、津久見市学校教育指導方針を掲げ、人権教育・特別支援教育の充実の上に、学力向上、德育、体力向上の三つの取組を実践し、子どもたちの力を育ててきた結果が、指標だけでなく、学力全体にも表れており、評価できるものである。今後は、学校運営協議会の取組を通して、地域とともにある学校づくりを更に推進する。また、1市1校の津久見高校の魅力向上に向けて、連携を密にしながら取組を続ける必要がある。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
全国学力調査平均正答率との差（中学校3年生国語）	%	-4.8	未実施	0.4	-3	-1.8	3.9	0.0以上		○		
全国学力調査平均正答率との差（中学校3年生数学）	%	-2.8	未実施	-0.2	1.6	2	2.5	0.0以上		○		
体力・運動能力調査 小学生 全国平均以上の割合	%	47.9	未実施	57	53.1	70.8	82.3	50以上		○		

体力・運動能力調査 中学生 全国平均以上の割合	%	41.7	未実施	54	31.2	33.3	50	50以上		○		
人権・部落差別解消推進 に係る研修会の開催回数	回	5	1	5	5	8	6	5		○		
学校・家庭・地域の「協 働」に取り組む学校数	校	7/7	7/7	8/8	8/8	8/8	7/7	7/7		○		
津久見高校との連携強化 による市内からの進学率	%	47.5	新規 (後期計画 より)	33.9	33.3	30.9	30.8	60		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第2章：郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち	施策主管課	生涯学習課
施策名	2. 社会教育の充実	課長名	川野 明寿

1. 施策の体系

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

(1)学習機会の創出	各計画記載ページ	達成率の高い指標について	
(2)市民に愛される図書館づくり	第5次総合計画（後期） p.67～68		
(3)学術交流活動の推進	第2期総合戦略 p.7～11		
		達成率の低い指標について	○公民館教室の利用者数の増加につなげるため、市民が興味を持つような教室内容を検討した。直近では、最も要望が多かった「スマホ教室」に力を入れたほか、新たな教室として「日常使えるラッピング教室」「手作業手芸教室」「パン教室」「伝統芸能扇子踊り教室」を開講した。新型コロナウイルスにより激減した利用者数も徐々にではあるが、上昇しており、今後も魅力ある教室の開催に努める。 ○まちづくり出前講座及び地域資源に関心のある団体からの依頼に応じて、網代島に関する講演や現地説明を行っている。商工会議所女性部と宮崎大学理科教育学部の巡検の2件があった。市外からも学術的な価値を認知されており、今後も世界に誇れる資源として情報発信していく。 ○貸出利用者数は横ばいの状態が続いているものの、来館者数は年間35,422人で昨年度より1,439人増加している。 また、令和6年2月からはフリーWi-Fiサービスを開始し、スマートフォンやタブレットからインターネットに接続して調べものや学習ができる環境を整備した。市内小中学生が使用する学習用タブレットについては、パスワード入力等が不要で自動接続される設定となっており、タブレットを持参して学習に取り組む児童生徒の姿も見られるようになった。
		各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	○公民館ではニーズが多様化する中であって、魅力ある教室の開催などにより、生涯学習の場として機能を発揮した一方で、公民館利用者の固定化や平均年齢も高くなっている。また、建物の老朽化、館内のバリアフリー化、障がい者向けのトイレの設置、駐車場確保など環境整備が課題となっている。 ○図書館については、新型コロナウイルス感染症等を契機に、電子図書の利用拡大が進んだ。 Wi-Fi環境を整備したことにより、学生の利用が増加したように見受けられる。津久見高校や津久見中学の近隣ということで、学習等で気軽に寄ることができる場ができたことは効果的であった。今後も利用者の利便性・快適性向上に向けての環境整備、図書館や本に興味を持ってもらえるような企画や情報発信・情報提供など工夫して取り組む必要がある。 ○「網代島」については、希少な地質資源である。今後の活用等、地域の意向を踏まえながら検討する。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角 でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
公民館利用状況	回	1,332	828	926	1,033	1,050	1,028	1,490		○		
公民館教室数	教室	13	7	9	8	11	8	15		○		
蔵書貸出人数	人	44	36	36	36	36	34	50		○		
地質資源の講演回数	回	6	6	5	2	4	2	10		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第2章：郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち	施策主管課	生涯学習課
施策名	3. スポーツ・レクリエーション活動の推進	課長名	川野 明寿

1. 施策の体系

(1)生涯スポーツ・レクリエーションの推進	各計画記載ページ	
(2)競技スポーツの強化推進	第5次総合計画（後期）	p.69~70
	第2期総合戦略	p.7~9

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	
達成率の低い指標について	○計画期間中において、新型コロナウイルス感染症により、利用が大きく左右され、利用者の増減にも大きく影響した。人口が減少する中で、利用者数を大きく伸ばしていくことは困難であるが、利用者が利用しやすい環境を少しでも整えることで、利用者の増加につなげていきたい。 ○総合型地域スポーツクラブ「エンジョイつくみ」が各種スポーツ教室を開催しているものの、人口減少や少子化等による競技人口の減少により横ばい状態となっている。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	○市民が施設を利用しやすい環境整備のため、津久見市民球場、サニーホールにネーミングライツを導入できたことは、企業、行政ともに効果が大いと考えている。 屋内施設があることで韓国の高校生が野球の合宿に利用しており、スポーツによる交流や地域経済活性化にも寄与している。 施設全体が老朽化していることから、利用しやすい環境整備が必要である。 ○競技人口自体が少ないため参加者数は伸び悩んでいる。市民のスポーツに対するニーズを的確に把握し、総合型地域スポーツクラブ「エンジョイつくみ」や、津久見市スポーツ協会、行政が連携し、市民主体のスポーツ活動の推進を図るための新たな策を講じていく必要がある。 ○市民がスポーツをしやすい環境を整えることについては、大分都市広域圏の施設の相互利用などの広報も必要である。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角で記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
総合型地域スポーツクラブ参加人数	人	230	199	202	184	192	184	250		○		
施設利用件数	件	4,960	4,678	5,145	3,980	4,822	4,508	5,200		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第2章：郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち	施策主管課	生涯学習課／学校教育課
施策名	4. 青少年の健全育成	課長名	川野 明寿／江藤 靖雅

1. 施策の体系

(1)健全な家庭環境づくり	各計画記載ページ
(2)学校教育と連携した地域ぐるみの育成活動	第5次総合計画（後期） p.71～73
(3)青少年の見守り活動の充実	第2期総合戦略 p.10～11

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	○毎月第3金曜日に市内20箇所において、あいさつ運動を実施（8月を除く）。市内各学校や、PTA等の各委員、区長等を中心に積極的に街頭活動を行うなど、地域が一体となった青少年健全育成の運動を展開する取組ができている。
達成率の低い指標について	○漢字検定・算数検定へのチャレンジに向けた「土曜寺子屋・つくみ塾」を、各小学校にて実施している。参加児童は目標値には遠く及ばないものの、年々少しずつ増加している。 毎年、希望者を対象に実施している漢字検定・算数検定では、受験した児童の合格率が高く、これは毎月熱心に学習に取り組んできた子どもたちの努力と、講師の方々の熱心な指導の成果が結果となってあらわれている。 今後も、こうした学習機会の提供を通じて、子どもたちが学びに対する興味や意欲を高められるよう、引き続き取り組んでいく。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	○あいさつ運動をはじめとする地域のつながりを育む取組を進めており、こうした日常的なあいさつや声かけが、目に見えにくい部分で青少年の安心感や自尊心を育み、健全育成につながっている。あいさつを大切にする津久見の地域の良さが、子どもたちを支える力となっている。 ○あいさつ運動や青少年健全育成推進事業を開催して青少年を取り巻く状況などを共有し、子どもの安全・安心を図る必要がある。 ○今後も引き続き関係者や学校等と連携し、大学生や地域ボランティア等に事業への参加協力を仰ぎながら、土曜寺子屋・つくみ塾を引き続き開講し、青少年の学習機会の提供と魅力ある講座の充実を図っていく必要がある。 ○近年、SNSを通じたトラブルが増えてきているので、情報モラル教育を重要視する必要がある。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
非行少年等の補導件数	件	5	0	0	0	4	1	0		○		
子ども連絡所設置箇所数	箇所	322	314	304	281	281	243	330		○		
土曜寺子屋つくみ塾参加人数	人	85	18	18	24	33	40	100		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第2章：郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち	施策主管課	生涯学習課
施策名	5. 地域文化の伝承と芸術文化活動の充実	課長名	川野 明寿

1. 施策の体系

(1)市民の文化・芸術活動の支援	各計画記載ページ
(2)伝統文化及び文化財の保存と継承	
(3)文化施設の有効活用	

第5次総合計画（後期）	p.74~76
第2期総合戦略	p.10~11

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	○「津久見市文化財保存活用地域計画」の作成を契機に、文化財の整理が進んでおり、未指定文化財の中から指定等の対象候補をリストアップし、適宜、文化財調査委員会に諮って指定等を行った。また、現在、市指定となっている文化財についても、その重要度に応じた格上げ等を検討していく。
達成率の低い指標について	○観劇会イベントについては、これまでどおりの安価な料金で会員のニーズに合った催し物を選定することが求められる一方で、決算時に赤字にならないよう、適切な料金設定を検討する必要がある。 また、住民ニーズが多様化により、市民自らが興味を持つものについては、市内外を問わず鑑賞する傾向があることから、入場者数を増やすためには、魅力的な事業の提供などを通じて新規会員の確保を目指すことも重要である。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	○文化財保護法に位置付けられた、津久見市における文化財の保存と活用に関する「津久見市文化財保存活用地域計画」を、令和5年度～令和7年度にかけて作成している。この計画の作成を契機として、今後、文化財の指定や活用を目指す取り組みが進むことは、後世に伝えていくという観点からも意義が大きいと考えている。 また、令和7年6月に「津久見市伝統芸能等保存連絡協議会」を発足し、市内の各種伝統芸能・伝統行事等の保存団体による意見交換や情報共有、協議等を通じて、各団体との連携を図り、様々な伝統芸能・伝統行事の保存・継承を進めていく環境が整備された。このことは、今後に向けても効果的であった。 こうした取組により、各団体間の連携や情報共有が徐々に進みつつある一方で、後継者不足や道具の整備など、今後解決すべき課題も明らかになってきている。 ○観劇会事業は、催し物の内容でチケット売り上げが増減する。住民ニーズが多様化する中、安定的な運営を続けるためにも、観劇会理事の皆様の意見をお聞きしながら、魅力ある事業を計画する必要がある。 ○文化団体については、会員の高齢化や若年層の団体活動の希薄化が進んでいる。芸術文化に触れる機会の提供などの取り組みが必要である。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
観劇会イベント参加者数	人	337	201	488	670	841	514	1,200			○	
市民会館利用状況	件	1,443	1,125	1,369	1,583	1,403	1,442	1,600		○		

文化団体数	団体	31	26	26	26	24	24	32		○		
指定文化財	件	34	35	36	36	36	42	40		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第3章：世界に誇る地域資源で活力を創造するまち	施策主管課	農林水産課
施策名	1. 農林業の振興	課長名	野々下 直人

1. 施策の体系

(1) 農業生産基盤の整備強化	各計画記載ページ	
(2) 農業経営基盤の整備と担い手の育成	第5次総合計画（後期）	p.77~79
(3) 森林の整備・保全の推進	第2期総合戦略	p.12~14

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	○集積された農地面積の指標は達成率が高かった。その理由として、長目釜戸地区及び中田瀬戸石地区において、県営の農業基盤整備事業(畑地帯総合整備事業)が着手された効果が大きい。再生された農地面積の指標増にも繋がる県営事業等の農業基盤整備事業を活用しながら、新規就農者等の農地を確保していきたい。
達成率の低い指標について	○青年就農者等の指標について、新規就農後を支援する国の制度が変更となり給付期間が短縮されたが、本市の基幹産業であるみかんについては、苗木を植えてから安定して収穫・販売ができるようになるまで10年近くかかることから、この期間短縮により、収入がない期間が長くなってしまい、新規就農への足かせにもなっている。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	○農業者が高齢化し、園地の維持が難しくなってくる中で、農業生産基盤の整備強化として、長目釜戸地区及び中田瀬戸石地区で実施された県営の農業基盤整備事業(畑地帯総合整備事業)により、大規模な園地再生が行われたことは、将来にわたって津久見のみかんを残すためには大きな成果と言える。今後は、この事業に続く候補地を確保し、法人の参入を含めた新規就農者の獲得を図りながら、担い手の育成にもつなげていきたい。また、農地バンク等を活用し、園地継承がスムーズに行えるよう整備を進め、新規就農者の農地を確保する取組も強化していく必要がある。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角 でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
再生された農地面積	ha	2	2	2.2	2.2	2.6	2.7	3		○		
集積された農地面積	ha	0	1.1	2	7.4	9.7	10.6	5		○		
青年就農者等	人	3	1	1	1	2	3	6		○		
認定農業者数	人	45	41	41	40	43	43	50		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第3章：世界に誇る地域資源で活力を創造するまち	施策主管課	農林水産課
施策名	2. 水産業の振興	課長名	野々下 直人

1. 施策の体系

(1)漁業生産基盤の整備強化
(2)漁業経営基盤の整備と担い手の育成

各計画記載ページ	
第5次総合計画（後期）	p.80~82
第2期総合戦略	p.12~14

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	養殖魚等の出荷量の指標については、新型コロナウイルス感染症の影響と併せて世界情勢が緊迫していたことから、想定しているような展開ができない時期もあったが、近年では、関東・関西を中心に安定した流通を確保し、国外は北米や欧州を中心に輸出を行っており、東南アジアへも拡大している。
達成率の低い指標について	漁港の長寿命化については、実績として挙がっていないが、今後、県の道路改良事業に伴って改修が計画されている箇所もあり、順次検討を進めている。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	漁業生産基盤の整備強化について、近年では、獲る漁業から育てる漁業への需要が増えており、特に津久見市の豊かな漁場は、水温や潮の流れ等、養殖業を営むには最適な漁場となっている。その強みを生かしHACCP技術を用いた徹底した品質管理を全面に打ち出し、現在の国内への需要を確保するとともに、国外の輸出国拡大を進めていきたい。 また、魚価の収益向上を図るため、漁協等と協力しながら、稚魚・稚貝の放流事業を継続して行っており、資源管理対策にも力を入れてきている。今後も、この放流事業を継続しながら、漁協等と大型増殖礁設置の調査研究を行い、藻場の増殖に繋がる取組も検討していきたい。 漁港の長寿命化整備についても、優先順位を付け計画的に実施できるよう国・県への予算確保及び地元住民への理解が得られるよう進めていきたい。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
長寿命化整備を行った漁港区域内の港数	港	1	0	0	0	0	0	3		○		
養殖魚等の出荷量	t	4,778	4,527	4,720	4,559	3,920	6,570	5,000		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第3章：世界に誇る地域資源で活力を創造するまち	施策主管課	商工観光・定住推進課
施策名	3. 鉱工業の振興	課長名	中津留 俊則

1. 施策の体系

(1)中小企業の経営基盤の強化	各計画記載ページ
(2)企業の育成・誘致	第5次総合計画（後期） p.83~84
	第2期総合戦略 p.12~14

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	
達成率の低い指標について	長引く燃油高騰や物価高等の影響は、甚大ではあるが、民間事業者の努力に加え、国、県、市の施策等により、事業所数・従業者数は、ほぼ横ばいの状況ではあるが、地方の人材不足が顕著となり、今後の状況が未知数である。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	長引く燃油高騰や物価高等の影響、加えて人材確保に苦慮している状況であり、今後の経済状況が未知数の中、津久見市企業立地促進助成金（設備投資・雇用促進、社宅整備）を推進し、津久見商工会議所と連携を図り、情報収集に努める。 特に人材不足が叫ばれるなか、事業承継や外国人材活用に向け、情報提供等に努めていく。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角 でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
事業所数(鉱業・建設業・製造業)	事業所数	155	153	154	152	150	145	163	○			
従業者数(鉱業・建設業・製造業)	人	2,248	2,238	2,241	2,240	2,231	2,242	2,248		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第3章：世界に誇る地域資源で活力を創造するまち	施策主管課	商工観光・定住推進課
施策名	4. 商業の振興	課長名	中津留 俊則

1. 施策の体系

(1) 中心市街地の活性化	各計画記載ページ		達成率の高い指標について	厳しい経済状況の中、商工会議所の経営指導・相談が大変重要な位置を占めており、創業支援事業補助金を活用した新規創業があり、効果的であると認識している。
(2) 特産品等の流通経路の拡大	第5次総合計画（後期）	p.85~87		
	第2期総合戦略	p.12~14		
			達成率の低い指標について	
			各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	事業者を取り巻く環境は非常に厳しいことが想定されるため、状況を注視しつつ津久見商工会議所など関係団体との連携をさらに密にしていく必要がある。国・県・市の支援制度の周知活動や申請手続補助などについては、常に津久見商工会議所と連携できたことから効果的な支援につながったと考えている。「第2期津久見市観光戦略」に則り、観光を通じて稼ぐ力を養い、稼げる基盤づくりを今後も推進する。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
中心市街地における商店数	店舗	161	161	160	152	150	150	161			○	
商業・サービス業の創業・起業等の件数	件	11	4	8	6	9	12	5	○			
商業・サービス業に対する経営指導員等による経営指導・相談件数	件	538	1,034	1,135	900	675	618	450			○	

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第3章：世界に誇る地域資源で活力を創造するまち	施策主管課	商工観光・定住推進課
施策名	5. 観光・レクリエーションの振興	課長名	中津留 俊則

1. 施策の体系

(1)観光地域ブランドの確立と推進	各計画記載ページ	
(2)多様なツーリズムの展開	第5次総合計画（後期）	p.88~90
(3)魅力的な観光情報の発信と誘客強化	第2期総合戦略	p.7~9, 12~16

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	食観光売上金額は、J R D C期間中に、開催したこと等もあり目標を達成しているが、イベントの継続実施による入込客数確保と、ひゅうが井・モイカ・本まぐろに続く新たなメニュー開発の検討が必要である。
達成率の低い指標について	イベントごとに悪天候であり、その影響等で入込客数は伸びておらず、目標達成は厳しい状況である。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	「第2期観光戦略」に則り、観光を通じて稼ぐ力を養い、稼げる基盤づくりを引き続き推進し、入込客数の目標値を目指しながら、オーバーツーリズムにおけるリスクマネジメントを図る必要がある。また、つくみイルカ島、保戸島ツーリズム等の促進、産業観光の取組を着実に進めるなどして、新たな顧客層の開拓を行う必要がある。 さらに庁舎との一体的整備を進めてきた広域周遊観光客の交流拠点“街なか観光拠点”整備に向けては、ソフト事業を充実させハード事業につなげ、身の丈にあった事業を計画していくことが重要なのでと慎重かつ丁寧に取り組んでいく必要がある。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角 でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
観光入込客数	人	340,000	150,000	155,000	242,000	324,000	284,000	600,000		○		
食観光の売上金額	千円	37,000	34,000	32,000	35,000	41,000	42,000	40,000				○

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第3章：世界に誇る地域資源で活力を創造するまち	施策主管課	商工観光・定住推進課／社会福祉課
施策名	6. 就労環境の整備	課長名	中津留 俊則

1. 施策の体系

(1)若年層や女性の雇用機会の創出	各計画記載ページ
(2)高齢者・障がい者雇用の充実	第5次総合計画（後期） p.91~93
(3)ワークライフバランスの推進	第2期総合戦略 p.7~9, 12~16

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	
達成率の低い指標について	令和4年度から「つくみ産業博in津久見高校」を、産業や仕事に対する理解、意識の向上を目指すとともに、地場企業への興味・関心を深めてもらい、生徒自身の将来の就職等、進路決定の一助とするために開催している。目標値には達していないが、長期的な取り組みが必要である。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	ふるさと教育や津久見高校、津久見市工業連合会等の連携により、ふるさとへの愛着心を育むことが、将来的な津久見高校入学及び地元就職につながることから、つくみ産業博in津久見高校の中学生参加、参加企業数を増やして開催し、地元の産業や仕事に対する理解、意識の向上を目指していく。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角 でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
津久見高校新規卒業者の市内事業所への就職者数	人	21	31	21	20	17	20	30		○		
U I J ターン者数	人	2	0	0	0	1	1	3			○	
シルバー人材センター登録者数	人	133	134	132	118	114	115	180				○

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第4章：多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち	施策主管課	まちづくり課／土木管理課／経営政策課
施策名	1. 交通ネットワークの整備	課長名	花宮 仁／神河 悦史／吉田 博之

1. 施策の体系

(1)利用しやすい道路ネットワークの形成	各計画記載ページ	
(2)安全・安心な道づくり	第5次総合計画（後期）	p.94～96
(3)公共交通の維持・サービス向上	第2期総合戦略	p.7～9

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	概ね必要な補助金等を含め予算措置がなされたことにより、補修橋りょう数の令和7年度までの目標値は達成できた。しかしながら、令和6年度に全ての橋りょうを対象（津久見駅跨線橋は除く）に実施された法定定期点検の結果、補修対象となる橋りょう数合計が32橋から42橋に増加、令和7年度以降の補修橋りょう数が17橋となったことから、市民の移動の安全・安心の確保に向けて、今後も継続して補修に取り組んでいきたい。
達成率の低い指標について	計画期間においては、人口減少が進む中で乗合タクシーの利用者数を増加に展示させることはできていない。その中で、令和7年10月からを計画期間とする津久見市地域公共交通利便増進実施計画を策定し、路線バスの路線の整理による乗合タクシーとの接続の向上や利用機会の拡大を目的とした路線バスの運賃低減等により、公共交通全体の取組を活性化することとしている。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	○令和6年度実施した法定定期点検の結果、補修対象となる橋りょう数合計が32橋から42橋に増加、令和7年度以降の補修橋りょう数が17橋となったが、今後も5年毎に実施される法定定期点検によって補修が必要な橋りょう数は増加する可能性があり、現在の予算配分では追いつかなくなることが予想される。（ことから、予算確保に取り組むとともに、橋の統合や廃止等を検討する必要がある。） 歩行者などの移動の安全の確保のために、既存施設の点検や適正な管理に務めたほか、市道岩屋線道路改良については、幅員狭小区間の解消、歩行者の安全の確保につながると考えている。 ○令和7年10月からを計画期間とする津久見市地域公共交通利便増進実施計画を策定し、路線バスの路線の整理による乗合タクシーとの接続の向上や路線バスの利用機会の拡大を目的に一律200円の料金設定をすることによる新たな利用や利用頻度の増加、便数の増加による利便性向上など、公共交通全体の活性化が見込まれる。 ○津久見市では、「歩いて楽しめる空間整備」をテーマとした都市再生整備計画事業により、市道大友岩屋線の美装化など、景観と利便性に配慮した道路ネットワークの形成が進められ、事業は初期の目的に沿って着実に進捗している。また、津久見港埋立地における新庁舎と周辺環境の整備計画をランドデザイン構想に基づいて策定できたことは、将来的なまちづくりに大きく寄与するものと考えられる。一方、都市構造再編集支援事業については、令和5年度に事業実施ができなかったことから、現状に即した大幅な計画変更が求められている。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
補修済橋りょう数	橋	24	29	32	33	34	38	記入例：36		○		

乗合タクシー利用者数	人	2,519	2,170	2,036	1,806	2,051	1,865	2,600		○		
------------	---	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--	---	--	--

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第4章：多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち	施策主管課	土木管理課
施策名	2. 港湾の整備	課長名	神河 悦史

1. 施策の体系

(1)港湾の整備	各計画記載ページ	
	第5次総合計画（後期）	p.97~98
	第2期総合戦略	

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	
達成率の低い指標について	
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	早期の完成に向け、県への要望などの働きかけを継続し、その次の立花地区の埋立や県道大泊浜徳浦線（釜戸～楠屋）道路改良事業につなげていく必要がある。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角で ご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第4章：多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち	施策主管課	会計財務課
施策名	3. 情報通信基盤の整備	課長名	吉田 ひとみ

1. 施策の体系

(1)高速情報通信網の整備促進	各計画記載ページ	
(2)電子自治体の推進	第5次総合計画（後期）	p.99~100
	第2期総合戦略	p.7~9

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	電子申請メニュー数については、大分県全体にて電子申請メニューの推進に取り組み、津久見市としても外部人材を活用し電子申請化の促進を行った結果目標値を大幅に超えることができた。今後は電子申請がまだ導入されていない事務にも電子申請化をすすめていきたい。
達成率の低い指標について	
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	Wi-Fiアクセスポイント数増加による市民が利用できるネットワーク基盤整備、行政DX化推進による行政サービスのペーパーレス化・電子化、キャッシュレスサービスなどの取組を進め行政サービスの向上を実現することができた。 今後は多様なデジタル技術をさらに活用できるよう、デジタル技術推進のための体制を構築し本市行政のデジタル・トランスフォーメーションを推進することでさらなる市民サービスの向上につなげていきたい。 また、大分県が中心となって立ち上げた「市町村行政DX推進会議」において、行政手続の電子化等デジタル関連についての共同目標を定めており、今後も大分県や他の市町村と連携を図りながら、本市独自の取組と並行して大分県全体での目標達成に向けた取組を行っていく。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
Wi-Fiアクセスポイント設置箇所数	箇所	0	3	3	4	5	5	3		○		
電子申請メニュー数	件	4	新規（後期計画より）	7	60	62	76	17		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第4章：多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち	施策主管課	まちづくり課／商工観光・定住推進課
施策名	4. 住みたい・住み続けたいまちづくり	課長名	花宮 仁／中津留 俊則

1. 施策の体系

(1)住環境整備	各計画記載ページ
(2)公園・緑地及び水辺の整備	第5次総合計画（後期） p.101～103
(3)つくみん公園を中心とした魅力的な市街地整備	第2期総合戦略 p.7～16

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	空き家情報バンクについて、帰省の多い時期を狙って市報等でP R、在京津久見人会や区長会の総会等に出向き周知を行い、各移住定住支援策についても同様に情報発信に力を入れ実施している。 活用実績については、年間50～60前後で推移している。R6年度は、移住定住支援活用が57件、空き家バンク活用が6件でトータル63件、R5年度は、移住定住支援活用が40件、空き家バンク活用が例年を上回る12件でトータル52件であった。移住定住支援活用は微増しているが、社会減が続く中、転入者の増加にはつながっていない。
達成率の低い指標について	
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	○空き家情報バンクについて、登録件数の増加に向けて、区長会への協力依頼、固定資産税納付書発送時に案内を同封するなどして、今後も周知を行っていく。 移住定住支援策については、補助金増額が、移住決断の1つにならないと考えるので、他施策（子育て支援策等々）を連携し情報発信を行っていく必要がある。また移住のみならず、定住推進策の取り組みを全庁的に検討していく必要がある。 ○まちなかウォークアブル推進事業により、津久見川沿いの緑地整備や大友町展望広場の新設など新たな憩いの場を創出するとともに、金融ゾーンの一部を担う角崎公園の改修や図書館周辺の水辺整備など既存施設の魅力向上にも取り組んできた。また、イベント支援を通じて市街地の賑わい創出にも寄与している。今後は、つくみん公園や緑地広場の改修を都市構造再編集集中支援事業で進める予定であるが、維持管理や財源確保が課題となっている。一方、住環境整備では空き家除却や高齢者リフォーム支援により安全・安心な環境整備が進んでいるほか、ルポ鬼丸住宅用地については、初年度に一定の販売実績を上げたものの、近年は伸び悩んでおり、今後は更なる販路拡大に取り組む必要がある。加えて、防災・防犯の観点から、空き家除却や木造住宅の耐震化促進についても、事業の拡充が求められている。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
新築戸数	戸	33	新規（後期計画より）	16	21	21	18	50			○	
空き家情報バンク、定住支援施策の活用件数	件	68	新規（後期計画より）	53	60	52	63	80			○	

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第4章：多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち	施策主管課	上下水道課
施策名	5. 上下水道等の整備	課長名	西郷 貴芳

1. 施策の体系

(1)上下水道・簡易水道の整備
(2)下水道等生活排水処理施設の整備

各計画記載ページ	
第5次総合計画（後期）	p.104~106
第2期総合戦略	p.7~9

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	合併処理浄化槽普及率の指標は達成率が高く、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与してきているが、全体に占める割合としてはまだ少数であるため、施策実現への影響度は小さかった。
達成率の低い指標について	戸別訪問等により公共下水道水洗化率は増加しているが、高齢化等の影響で微増となってきたため、今後は目標値をやや低減させたい。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	上水道・簡易水道や生活排水処理施設の整備により、安全な水の安定供給や快適で衛生的な生活環境の向上に寄与してきた。今後も水道の安定供給や有収率向上、生活排水の適切な処理の維持ができるように、各施設の適切な維持管理や計画的な老朽化対策を行う必要がある。また、南海トラフ巨大地震の発生も想定されているため、耐震対策も進めていく必要がある。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角で記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
上水道有収率	%	84.8	84.6	84.9	84.6	82.5	84.1	88.0	○			
上水道普及率	%	92.0	92.0	92.3	92.5	92.4	92.7	97.0		○		
公共下水道普及率	%	54.7	54.9	55.4	55.8	55.1	56.1	56.5			○	
公共下水道水洗化率	%	80.7	81.3	81.8	82.3	83.0	83.1	89.0		○		
合併処理浄化槽普及率	%	13.8	14.4	15.0	15.6	16.4	17.1	16.5			○	

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第4章：多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち	施策主管課	防災危機管理室／市民生活課
施策名	6. 安全安心の基盤づくり	課長名	秦野 貴光/戸田 尊道

1. 施策の体系

(1)防災対策の充実	各計画記載ページ
(2)防犯・交通安全対策の充実	第5次総合計画（後期） p.107～109
(3)消費生活の安心	第2期総合戦略 p.7～9

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	防災士の育成は各地区自主防災会の中での防災の要となる人物となるため今後も引き続き増加を目指す。防災訓練の参加人数については天候や個人のスケジュール、仕事の関係等があり全市民の1/3の参加は厳しいと感じるので、今後は目標値の低減させたい。 ○防犯パトロール隊結成数については、令和6年度に1団体（保戸島区）の結成に至ったものの、そのほかの結成できていない団体（地域）にも声掛けはするが、結成までには至っていない。 ○交通安全街頭キャンペーン参加人数については、関係団体の協力により、一定程度の参加者を維持できているが、増加にまでは至っておらず限界を感じている。一方で、一定数の参加者を確保することで、キャンペーンとして効果を発揮するものであることから、今後は目標の見直しも検討する。 ○消費者問題関係説明会開催数については、地域での活動時（サロン等）に参加し啓発に努めたものの、目標値には至っていない現状である。その代わりに、市報や全戸回覧でタイムリーな消費者問題のチラシ等を作成し周知を行い、消費者が抱える問題等（詐欺被害防止等含む）について啓発に努めた。
達成率の低い指標について	
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	○コロナ禍の影響もあり計画前半については思うような実績を上げることができなかったが、引き続き平時の備えが重要なことから、普及啓発や訓練等に取組んでいく必要がある。 普及啓発については、出前講座等だけではなく外部講師による講演会や学校での防災教育など新たな取組みをすすめ、図上訓練など天候に左右されない方式も検討して訓練参加者の増加を目指す必要がある。 ○防犯・交通安全・消費者問題については、様々な啓発等によって、防ぐことができるので、今後もこれまで同様に、津久見市が安心・安全な『まち』であるよう、防犯・交通安全・消費者問題、それぞれについて「オール津久見」として、警察や地域・関係団体等と継続した連携を図る。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
防災知識の普及・啓発	人	409	0	0	124	322	262	500	記入例：	○		
										○		

防災訓練の開催	人	3,827	31	700	2,349	5,170	2,412	6,000	○			
防災士の育成	人	133	137	142	149	157	164	170		○		
防犯パトロール隊結成数	団体	10	10	10	10	10	11	12		○		
交通安全街頭 キャンペーン参加人数	人	390	50	170	180	460	440	600		○		
消費者問題関係説明会開 催数	回	4	2	3	3	3	3	7		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第4章：多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち	施策主管課	消防本部
施策名	7. 消防・救急の基盤づくり	課長名	宇都宮 志伸

1. 施策の体系

(1)消防体制の充実	各計画記載ページ	
(2)救急体制の充実	第5次総合計画（後期）	p.110~112
	第2期総合戦略	p.7~9

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	住宅用火災警報器の設置状況については、平成23年6月から市内全ての住宅において、設置が義務化されている。 住宅用火災警報器の設置促進のため、市ホームページ・市報・回覧板等への掲載を行いながら、周知を図っている。また、春、秋の火災予防運動週間、防災訓練、救命講習等の機会に幅広く広報活動を行いながら、設置及び設置から10年以上経過している住宅用火災警報器更新の定着を図る。
達成率の低い指標について	救命講習については、令和2年度から新型コロナウイルス感染防止を図りながら、開催回数、受入者の制限等の配慮をしながら開催する必要があったため、積極的な講習受講に向けた広報、呼びかけ等の取組が行えない状況であった。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	住宅用火災警報器の設置状況については、国から示された設置状況調査方法により、市内全世帯から50世帯を無作為に抽出し調査した結果、ここ数年約70%後半から80%後半の設置率となっている。市内全世帯から無作為抽出調査のため、年度により設置率のばらつきが生じている。令和6年度に保戸島地区で一般社団法人 全国消防機器協会の「住宅用火災警報器等の配布モデル事業」を活用したため、一定の成果は得られた。 救命講習については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、5類感染症に移行されたことに伴い、講習受講を推進する事業所も増えつつあるので、企業の聞取等を通じ、受講しやすい体制整備、開催定員数、講習時間等、講習方法の検討を行いながら、開催回数の増加に対応できる職員配置の準備等、継続的な実施に向けた取組を行う。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角で記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
住宅用火災警報器の普及	%	78	87	78	84	82	84	100		○		
応急手当・普通救命講習	回	38	5	2	9	19	22	40		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第5章：美しい津久見の環境を次世代へつなぐまち	施策主管課	環境保全課
施策名	1. 生活環境の保全と向上	課長名	飯沼 久和

1. 施策の体系

(1)公害対策の充実	各計画記載ページ	
(2)環境保全活動の推進	第5次総合計画（後期）	p.113~115
	第2期総合戦略	

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	二酸化硫黄濃度及び二酸化窒素濃度については今後も正確な測定値を把握し、測定結果を基に必要に応じて原因究明を行い、関係事業者及び市民に対し環境への配慮を呼びかけていく。
達成率の低い指標について	○降下ばいじん量については、降雨や風向風速など気象条件の影響を受けやすく、また、黄砂などの影響も考えられる。原因の特定には詳細分析と専門的な知識及び時間が必要と考えられる。 ○自動車騒音測定については、毎年環境基準を超えており、注意喚起の方法を検討していく必要がある。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	市民生活の安全確保のために、引き続き監視業務を行ってきた。降下ばいじん量については必要に応じて詳細な分析を行い、その結果を基に、啓発及び原因の特定へ前進できるよう、専門的な知識を有する関係事業者との情報共有・連携が必要である。 自動車騒音については再度測定値の見直し（交通量の多い時間帯など）を行い、より詳細に関係事業者へ啓発ができるよう注意喚起の方法の検討が必要である。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角で ご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
降下ばいじん量	t / km ² /月	4.0	4.0	3.1	2.9	2.9	3.5	2.9	○			
大気中の二酸化硫黄濃度	ppm	0.008	0.006	0.006	0.007	0.006	0.005	0.005		○		
大気中の二酸化窒素濃度	ppm	0.022	0.021	0.023	0.024	0.022	0.021	0.021		○		
津久見湾のCOD測定数値	mg/l	1.3	1.3	1.2	1.5	1.3	1.4	1.3		○		
自動車騒音測定値（昼）	dB	69	73	73	73	73	74	65	○			
自動車騒音測定値（夜）	dB	63	67	67	67	66	68	60	○			

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第5章：美しい津久見の環境を次世代へつなぐまち	施策主管課	環境保全課
施策名	2. 循環型社会の推進	課長名	飯沼 久和

1. 施策の体系

(1)ごみ処理施設の整備	各計画記載ページ	
(2)ごみ減量化とリサイクルの推進	第5次総合計画（後期）	p.116～118
	第2期総合戦略	

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	
達成率の低い指標について	○1人1日当たりの可燃ごみ排出量は減少傾向にあるが、目標値はクリアしていない。今後も排出量を減少させ続けるため、更なる分別の徹底や30・10運動、食べきり運動による食品ロスの削減、コップ一杯の水切り作戦などを推進する必要がある。令和7年度からは電動生ごみ処理機の購入助成を行っており、多方面からごみの減量に取り組む必要がある。 ○最終処分率については、基準年度より減少しているが、計画期間においてバラつきがあり、安定していない。最終処分場の延命化のためには、今後も更なる資源化の検討を行う必要がある。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	可燃物の大分市での広域処理を開始したことにより、財政負担の軽減につながった。一方で、大きな目標であるごみの排出量という面においては、減少しつつも目標値には達していないことから、取組としてまだ十分とは言えない。 目標達成には市民の協力が不可欠であることから、家庭から出る「生ごみ」の減量化を推進する「コップ一杯の水切り作戦」の啓発、3R運動をさらに進めた「5R運動」や「30・10運動、食べきり運動」などの推進、資源ごみ（プラ・ペット類）等の分別収集の更なる周知及び啓発が課題である。また、市民や事業者と一体になって抑制し、資源の有効活用を図るため、ごみの減量化及びリサイクルの推進に努める。 これまで最終処分場で埋め立て処分を行っていたごみの中から、更なる分別と資源化が可能なものを仕分ける取組の更なる強化が必要である。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
1人1日当たりの可燃ごみ排出量	g	476	405	415	422	406	398	302		○		
最終処分率	%	5.8	新規（後期計画より）	5.3	4.5	4.1	5.0	4.6		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第5章：美しい津久見の環境を次世代へつなぐまち	施策主管課	まちづくり課／商工観光・定住推進課
施策名	3. 景観の保全・整備	課長名	花宮 仁／中津留 俊則

1. 施策の体系

(1)「津久見らしい」景観の発見・発掘活動の推進	各計画記載ページ	
(2)「津久見らしい」景観形成の推進	第5次総合計画（後期）	p.119~120
(3)自然景観の保全	第2期総合戦略	

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	
達成率の低い指標について	
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	津久見川や図書館周辺では、激特事業やまちなかウォーカブル推進事業などにより、景観に配慮した空間整備を行い、津久見らしい景観づくりに寄与してきた。また、景観再生事業では大友公園やJR沿線の樹木伐採などを通じて景観保全や津久見市の魅力向上にも取り組んできた。一方、青江ダム公園での植樹など自然景観への取組は、全体的には不十分であり課題が残った。令和6年度からは景観計画の策定に着手し、市民や中学生を対象とした意識醸成活動も進めている。今後は、本市のランドマークとして期待される新庁舎の建設を契機に、景観まちづくりへの市民意識の醸成を図るとともに津久見市ならではの景観資源の発信とまちづくりへの活用を一層進めていく必要がある。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角 でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第6章：未来の津久見を共に考え行動するまち	施策主管課	総務課／経営政策課
施策名	1. 市民主体のまちづくりの推進	課長名	今泉 克敏／吉田 博之

1. 施策の体系

(1)市民参画の推進	各計画記載ページ
(2)市民協働のまちづくりの推進	第5次総合計画（後期） p.121～122
	第2期総合戦略 p.7～9

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	
達成率の低い指標について	計画期間がコロナ禍であったことの影響が大きく、開催に至らなかったことや半島部においては高齢者も多いことから出席をためらうといったこともあり、目標からは下振れとなった。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	地域懇談会はその年度の施策により関心度がかなり変わるため、年度によって参加者にばらつきがあり、市報等の広報にはあまり参加者の変化はみられない。単純に参加者増を狙うのであれば、開催地区を小規模に区切り、回数を増やせば参加人数が増えるがそこまでのリソースは割けない。また、地区によっては参加者が固定されており、幅広い年代の意見が聞けていないので、開催方法・手法については検討する余地がある。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角 でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
地域懇談会参加者数	人	320	0	211	0	522	0	330		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第6章：未来の津久見を共に考え行動するまち	施策主管課	総務課／経営政策課
施策名	2. 地域コミュニティの活性化	課長名	今泉 克敏／吉田 博之

1. 施策の体系

(1)地域コミュニティ活動の推進	各計画記載ページ	
(2)多世代交流の推進	第5次総合計画（後期）	p.123~124
	第2期総合戦略	p.7~9

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	コロナ禍が落ち着き地域イベントが復活をするなか、新しいイベントへの取組みも始まりつつある
達成率の低い指標について	
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	地域イベントは地区の少子・高齢化の流れから現状はギリギリ開催できている状況なので、交流人口を増やすなどの対策を取らなければ後は減少の一途になると考えられる。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角で記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
地域イベント回数	回	271	281	266	251	257	314	295			○	

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第6章：未来の津久見を共に考え行動するまち	施策主管課	人権尊重・部落差別解消推進室／生涯学習課
施策名	3. 男女共同参画・人権尊重社会の形成	課長名	戸田 尊道／川野 明寿

1. 施策の体系

(1)男女共同参画の推進	各計画記載ページ	
(2)人権尊重社会の形成	第5次総合計画（後期）	p.125～126
	第2期総合戦略	p.7～9

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	附属機関の女性の割合は目標値に近い一定程度の率となっているが、委員の変更等により、年度によっては達成率の変動が大きくなる。さまざまな視点で各種施策を展開する上では、さらなる女性委員の登用が必要であるため、各分野への登用の推進を促す必要がある。
達成率の低い指標について	「人権啓発講演会参加人数」は、講演会の講師や講演内容によって、参加人数が大きく変動する傾向にある。参加者数に着目をすれば、集客力がある講師や講演内容について検討をする必要があるが、様々な人権問題の解消に向けては、集客数だけでなく、幅広いテーマにより、粘り強く市民へ啓発を続けることが必要である。 「人権教育・啓発研修会参加人数」は、高齢者学級やPTAを対象に研修会を実施してきたが、高齢者学級の解散や児童・生徒数の減少に伴い、参加対象者数も減っているため、今後は目標設定の見直しが必要である。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	人権の研修会等については、参加者アンケートを実施し、その回答には「参加して良かった」・「色々な気づきを与えられた」など、前向きな意見が多く、研修会等による一定の効果が感じられる。しかしながら、まだまだ様々な差別事象が発生している。今後も継続した人権侵害や、あらゆる差別の解消に向けた取組が必要である。 研修会等に参加していただくことで、人権に対する気持ちも変わってくるので、少しでも多くの方に参加していただくことが課題と感じる。 附属機関の女性の割合は一定程度の率となっており、今後も国・県の取組に加え、本市の基本計画や男女共同参画の視点から、女性参画社会の実現に向け継続した取組が必要である。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角で ご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
人権啓発講演会参加人数	人	450	150	280	500	300	303	500		○		
人権教育・啓発研修会参加人数	人	116	38	18	63	85	66	140		○		
附属機関における女性の割合	%	32.0	33.0	33.0	36.0	33.9	33.9	34.0		○		

第5次津久見市総合計画後期基本計画 施策評価検証シート

政策名	第6章：未来の津久見を共に考え行動するまち	施策主管課	総務課／経営政策課
施策名	4. 安定した地域経営の推進	課長名	今泉 克敏／吉田 博之

1. 施策の体系

(1)効率的で利便性の高い行政サービスの提供	各計画記載ページ	
(2)広報活動・情報公開の充実	第5次総合計画（後期）	p.127~130
(3)計画的で効率的な地域経営の推進	第2期総合戦略	p.7~9,15~16

2. 計画期間全体を踏まえた成果・課題・今後の取組方針など

達成率の高い指標について	将来負担比率は、現時点においては、充当可能財源等が将来負担額を上回っており、実質的な負債額が無いため、比率は表示されていませんが、今後、大型事業により地方債残高が上昇傾向にある。
達成率の低い指標について	地方債現在高は、令和5年度時点では、目標値を下回っているが、新庁舎等建設事業、学校統合事業などの大型事業により、大きく増加すると考えられる。今後の大型事業については、検討が必要となる。
各年度の施策評価を踏まえた全体の評価と課題	○各項目とも現時点において、目標値を上回っているものは無いが、今後、大型事業による地方債現在高の増加、地方債償還利率の上昇などによる地方債償還額の増加、物価高騰による経常的経費の増大など、数値が上昇する要素が多く注視する必要がある。また、大型事業などの見直しや有利な財源の確保、減債基金等への基金積立などを検討する必要があると考えている。 ○市報やホームページでの情報発信に加えて、新たに市公式Instagramアカウントを開設するなど、各種SNSを活用し迅速で積極的な情報発信に努めたほか、スマートフォンでの情報閲覧を想定し、二次元コードや電子申請フォームなどを活用することで、ユーザビリティの向上を目指した。また、市長自らFacebookなどで公式アカウントを開設し、動画を活用した情報発信などにより津久見ファン増加への取組を進めている。今後は、一層効果的な情報発信のため、AIなどの新たな技術の活用を検討するとともに、情報を受け取る市民の負担を軽減させるため、分かりやすい情報の発信に努める。

3. 指標の推移と重要度

指標の名称	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標ごとの重要度 ※該当する1つに「○」を入れてください			
		基準値 計画策定時	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値 ※数字は半角 でご記入ください。	目標値	非常に重要	重要	ふつう	判断できない
								記入例：		○		
経常収支比率	%	97.7	96.6	91.1	95.2	94.1	-	98.0	○			
地方債現在高	千円	11,151,430	10,648,450	10,129,519	9,669,464	10,146,281	-	13,500,000		○		
実質公債費比率	%	11.6	10.8	9.5	9.0	9.0	-	11.6	○			
将来負担比率	%	32.0	20.6	-	-	-	-	115.0		○		